

「ごっこ屋本舗」からの提言

少子化対策は故郷づくりから

ふるさと

我が家の故郷づくり、総額は500万円
200坪の土地に家がある田園生活



これから子供を産み・育てる若い夫婦に「田舎暮らし」のイメージを変えてもらわなければ、ストップ少子化のための故郷作りが成り立ちません。

そこで、「田舎暮らし」を「田園生活」と呼ぶことにします。心の裕福さが伝わってきます。

老後の生活を自然豊かな田舎で。と、今は「田舎暮らし」という言葉が流行っていますが、街で暮らした年寄りが定年後田舎に移っても不便だけが目について、がっかりするのが関の山です。田舎の古民家を買って取って改装して住むことが流行になっていますが、手放された古民家を見て来た私たちにとっては、家が建つほどの改装費をかけて、挙句に不便な田舎に愛想をつかして不満タラタラ。ヤワな町の人には耐えられない自然もあります。一夜漬けの田舎っぺでは耐えられません。リゾート気分で来るべきではないと思います。

そのでもなお、若いカップルがここで子育てと私たちの故郷づくりをするべきだと薦めたいのです。

「田舎暮らし」というから暗くて惨めな印象を与えるのです。「田舎もの」という言葉に通じるからです。

だから「田舎暮らし」という言葉を避けて「田園生活」と呼ぶようにしたいと思っています。イギリス貴族の田園生活といえ、少しは希望が湧いてきます。